

第36回 霧島国際音楽祭 2015

キリシマ祝祭管弦楽団公演

The 36th Kirishima International Music Festival 2015

日時 7/29(水) 19:00-21:00 (プレトーク 18:50~)

会場 宝山ホール

演奏予定曲 下野竜也によるプレトーク(18:50~)
シューベルト:交響曲 第5番 変ロ長調 D485
モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲 第2番 ニ長調 K211
ベートーヴェン:交響曲 第4番 変ロ長調 作品60

出演者プロフィール

下野竜也 *Tatsuya Shimono*



1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール(指揮)優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年プザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、ローマ・サンタ・チェチーリア管、チェコフィルハーモニー、シロンバレエ響をはじめとした国際舞台での活躍が目覚ましい。2006年読売日本交響楽団の初代正指揮者に就任、2013年から首席客演指揮者を務めている。その間、2011年には広島ウインドオーケストラ音楽監督に就任。霧島国際音楽祭、サイトウ・キネン・フェスティバル松本をはじめ、数多くの音楽祭にも参加。近年はオペラ分野でも新国立劇場、日生劇場、二期会をはじめとした注目の公演で指揮を務めている。上野学園大学音楽学部教授。これまでに「出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、東燃ゼネラル音楽賞奨励賞」などを受賞。

川久保賜紀 *Kawakubo Tamaki*



2002年チャイコフスキー国際コンクール最高位。2001年サラサーテ国際コンクール優勝。2004年出光音楽賞、2007年S&R財団ワシントン・アワード賞受賞。ロバート・リップセット、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫、ザハール・ブロン各氏に師事。欧米の主要なオーケストラと共演し、幼少時より豊富なステージ経験を積む。日本へは1997年初来日。以後定期的に来日して、主要外来オーケストラの日本公演ソリストとして、また日本の主要オーケストラと共演を重ね、高度な技術と深い音楽性で高い評価を得ている。近年はワシントンや淡路島で自ら企画するコンサートを行うなど、プロデューサーとしての才能も発揮している。

キリシマ祝祭管弦楽団

国内外で活躍する霧島国際音楽祭の講師、アーティスト、音楽祭修了生、鹿児島県出身者、受講生が参加し、音楽祭の総力を挙げて構成された特別オーケストラ。2013年の東京公演、2014年の台北公演で絶賛を博した。

第36回霧島国際音楽祭 2015 キリシマ祝祭管弦楽団公演 出演者変更のお知らせ

本公演につきまして、出演者を以下のとおり変更いたします。何卒ご了承ください。

☆出演者変更 モーツァルト「ヴァイオリン協奏曲 第2番 ニ長調K.211」
ソリスト (ヴァイオリン) 榎本 大進 ⇒ 川久保賜紀

キリシマ祝祭管弦楽団公演のソリストとして予定しておりました榎本大進は、第一子の出産への立会いのため、出演することが出来なくなりました。音楽祭としては、本人の意思を尊重し、受け入れさせていただきます。代替のソリストとして、本人の推薦もあり、2002年のチャイコフスキー国際音楽コンクールで最高位を受賞した川久保賜紀が出演いたします。川久保は、榎本の古くからの友人であり、最も信頼する素晴らしいソリストです。何卒ご了承くださいませよう、お願いいたします。

なお、7月25日・26日にみやまコンセールで行われる「音楽の散歩」⑤⑧公演には、榎本大進が出演いたします。

音楽監督 堤 剛 より お客様へのメッセージ

皆様へ

霧島国際音楽祭を育てて頂いておりますことを心より御礼申し上げます。

さて、この度、榎本大進さんが事情により当初の予定より早くドイツに帰国することが必要となりました。既にチケットをお求め頂きました皆様、また協奏曲を楽しみにしてくださったファンの皆様には大変残念なことではあります。第一子のご出産に立ち会われるという榎本大進さんの決断と希望を私たち音楽祭関係者は、受け入れることにいたしたいと存じます。

音楽監督といたしまして是非とも皆様のご理解とご協力をお願いいたしたいと思っております。

その上で音楽祭といたしましては、指揮者の下野竜也氏、榎本大進氏、関係者と相談の上、音楽祭のアーティスト仲間である川久保賜紀さんをお迎えし、当初発表の曲目を変えることなく宝山ホール公演を実施したいと思っております。

川久保さんは、2002年のチャイコフスキー国際音楽コンクールで最高位を受賞された素晴らしいヴァイオリニストであり現在まで日本や欧米のオーケストラのソリストとしてもトップの活躍をしている逸材です。

霧島国際音楽祭には2013年から参加されており私たちにとっても大切な仲間から川久保さんという代役を、自信をもって送り出せることを皆様にお約束いたします。榎本大進さんとも、幼少より同門であり、今回、榎本さんの代役として同じモーツァルトのヴァイオリン協奏曲第2番の演奏に白羽の矢が立ったのは、自然なことであり、私としても、一番ふさわしい方であると信じております。

川久保賜紀さんをソリストに迎えたキリシマ祝祭管弦楽団の公演を、お楽しみいただければ嬉しく思います。

榎本 大進 より お客様へのメッセージ

皆さまへ

この度、私たち夫婦の間に新しい命を授かり、私たちの人生の中でとても大きな意味を持つ時を迎えるにあたり、妻をしっかりと支えたいという思いから、当初の予定よりも早くベルリンに戻らせて頂くことになりました。

皆さまの前でキリシマ祝祭管弦楽団と演奏することをとても楽しみにしておりましたので、今回は私にとっても大変難しい選択となりました。このような私事で、この演奏会を失礼させて頂くこと、楽しみにして下さっていた方々には、大変申し訳なく思っております。

しかしながら、主催者の皆さま・ご関係の皆さまのご尽力により、私の代わりに、私の信頼する友人である川久保賜紀さんに、演奏をお引き受け頂くことが出来ました。川久保さんは、小さい頃から、同じザハール・ブロン先生の下で学んできた昔からの友人であり、素晴らしいヴァイオリニストです。

川久保賜紀さんと下野マエストロ&キリシマ祝祭管弦楽団の演奏を、皆さまには必ずやお楽しみ頂けると思っています。皆さまには、心躍らせて会場に足をお運び頂きたいと切に願っております。